

事業報告

第45期（令和2年4月から令和3年3月31日まで）

当財団は平成25年3月25日付で東京都知事の認定を受け、平成25年4月1日より公益財団法人に移行し、以後事業活動は順調に推移しております。

当期の事業活動は、前年度と同程度ならびに期初の予算通りにほぼ実施いたしました。

一方、収入面では、予算額と前年度実績を共に下回る結果とはなりましたが、株式相場の回復により金融資産の評価損が大幅に減少するとともに SMK 株式会社から3千万円の寄付金収入もあり、期末の正味財産額は、前期に比べ212百万増加し1,054百万円となりました。

ここに令和2年度の事業活動をご報告いたします。

I. 公益目的事業 総額 33,873,283円

より良い社会の建設に資することを目的に、前途有望な学生・生徒に対する奨学金の給与並びに社会福祉及び芸術文化の分野における助成を行いました。

1. 育英事業への助成 合計 19,550,000円

(1) 奨学金

学術優秀で修学困難な学生、生徒に対する奨学金の給与を行いました。

以下のとおり大学、短大（専門学校含む）、高等学校（高専含む）の奨学生に対して、年2回の支給時期に個別面談の上用途等の指導を行いました。

58名 14,150,000円

対象	①大学生	年額	36万円/人
	②短大生（専門学校含む）	年額	24万円/人
	③高等学校生（高専含む）	年額	18万円/人又は9万円/人
	④東京日本語教育センター在校生	年額	10万円/人

(2) 理工系大学院生特別奨学金

理工系大学院生に対する奨学金の給与を行いました。

11月と3月に報告会を実施し用途等の指導も行いました。

対象	本財団が指定する東京都内の大学院の理科学系の博士前期課程（修士課程）又は後期課程（博士課程）の学生等。		
	上智大学	1名	
	東京理科大学	1名	
	電気通信大学	1名	
年額	540万円/3人（180万円/人）		

2. 社会福祉事業への助成 合計 7,647,440円

(1) 社会福祉事業助成金 (心身障害者・老人及び児童福祉事業等を支援)

主に東京都福祉保健局、東京都社会福祉協議会・東京ボランティア市民活動センター、東京都手をつなぐ育成会、品川区社会福祉協議会等より推薦され、申請された23の団体・施設及び品川区社会福祉協議会 (介護用紙おむつ支給事業) 等へ助成を行いました。

7,367,440円

対象 障害者 (就労支援・生活介護等)、老人 (地域とのつながり支援等)、
児童 (自立支援・家族滞在施設等)、一般社会 (シェルター事業等) 等。

(2) 福祉手当 2名 280,000円

3. 伝統芸能事業への助成 合計 2,660,000円

芸術文化に対する助成として、特に能・狂言・邦楽 (主として古曲) 等の伝統芸能の振興を目的とした事業へ助成・寄付等を行いました。

4. その他経費 (給料手当) 合計 4,015,843円

II. その他事業 総額 4,412,150円

学生論文「昭和池田賞」

第39回は27編の応募があり、審査の結果、優秀賞、特別努力賞各2編が選ばれました。入選者の贈賞式は令和2年11月6日に東京で行いました。

なお、入選者以外の適格応募者には努力賞として記念品を贈呈しました。

(1) 優秀賞 (賞金20万円と当財団規定の奨学金) 2名

わくい もえこ
涌井 萌子氏 (大阪大学大学院 文学研究科 博士前期課程1年)

おがわ もりおう
小川 護央氏 (東京大学 教育学部3年)

(2) 特別努力賞 (賞金5万円) 2名

さいとう ふきこ
齋藤 富貴子氏 (放送大学大学院 文化科学研究科 修士3年)

おおむら はるな
大村 榛菜氏 (京都大学大学院 総合生存学館 修士2年)

以上